



第41回熊日学童五輪テコンドー(県テコンドー協会・熊日主催、県教委・県PTA連

合会後援、コカ・コーラウエ
スト協賛)は30日、ウイニング
まつばで72人が出場して行
われ、団体キョルギ(組手、
男女混合)は宇土が初優勝し
た。

同重量級は河野瑛翔(合志)
がそれぞれ1位になった。1
・2年重量級は芋生陵(西合
志)、同重量級はカリファ(熊
本武道館)が勝った。
キョルギの女子個人4・5
・6年は竹馬汐莉(不知火)、
同2・3年は白傲希(熊本武
道館)が優勝した。

人は3級以上が野田駿音(川
尻)、同4・6級は白、7級
以下はカリファがそれぞれ優
勝した。
開会式では、県協会の津田
佳輝理事長と中村俊隆熊日事
業局長が「厳しい稽古の成果
を発揮してほしい」と激励。
山崎と西本唯夏(合志)が「テ
コンドー精神にのっとり、正
々堂々と戦い抜きます」と宣
誓した。(嶋田昇平)

宇土

団体組手
男女混合

初優勝



【男子】◇個人キョルギ5
・6年重量級▽1回戦 奥田
熊本武道館12-0前田(合
志)、中山翔(託麻)6-0
丁(熊本武道館)、塚本(水
前寺)14-2上田(託麻)
鳥飼(八代)16-0本田(西
合志)
▽準々決勝 野田(川尻)

6-5奥田、寺本(水前寺)
6-2中山翔、吉本(熊本武
道館)8-7塚本、中山龍(託
麻)10-0鳥飼
▽準決勝 寺本10-3野
田、中山17-5吉本
▽3位決定戦 野田6-3
吉本
▽決勝 中山3-0寺本

◇同重量級▽1回戦 佐藤
(宇土)7-0本田縁(合志)、
西浦(託麻)16-1中野(八
代)、小田晴(不知火)8-
1河野(合志)、小田瞭(不
知火)9-5高本(西合志)
横田(宇土)14-0本田尊(合
志)、丁(熊本武道館)15-
8佐藤(不知火)

▽準々決勝 山崎(熊本武
道館)9-0佐藤、西浦5-
2小田晴、角谷(宇土)12-
0小田瞭、横田7-4丁
▽準決勝 山崎12-1西
浦、角谷7-1横田
▽3位決定戦 西浦8-0
横田
▽決勝 山崎5-3角谷

◇個人キョルギ3・4年軽
量級▽1回戦 寺本(水前寺)
17-4前田(合志)、石井(熊
本武道館)10-0園田(合志)
▽準々決勝 高橋(熊本武
道館)22-8寺本、本多(託
麻)8-4野村(不知火)、小
田(宇土)12-0石井、久
松(合志)12-0上妻(託麻)
▽準決勝 高橋12-0本
田、久松9-7山頭
▽3位決定戦 山頭9-2
本多

◇決勝 高橋9-6久松
◇同重量級▽1回戦 河野
(合志)4-1菅野(熊本武
道館)、氏原(宇土)4-2
緒方(西合志)
▽準々決勝 河野16-5本
松(託麻)、眞弓(西合志)7
-1脇山(同)、氏原3-0
芋生(西合志)、三小田(玉
名)6-0濱邊(西合志)
▽準決勝 河野5-4眞
弓、三小田3-1氏原
▽3位決定戦 氏原7-1
眞弓

◇決勝 河野7-6三小田
◇個人キョルギ1・2年軽
量級▽1回戦 田尻(西合志)
・不戦勝・杉本(菊陽)、本
田(西合志)17-5吉本(熊
本武道館)、左藤(不知火)
▽準々決勝 山崎(熊本武
道館)3-0久松、西本(託
麻)3-0山崎
▽準決勝 山崎3-0久松、
西本3-0山崎
▽3位決定戦 吉本2-1
山崎

◇決勝 野田3-0高橋
◇同4・6級以上▽1回戦
河野(合志)2-1中野(八
代)、中山翔(託麻)2-1
氏原(宇土)、久松(合志)
3-0菅野(熊本武道館)、
西本(合志)3-0鳥飼(八
代)、中山龍(託麻)3-0
本松(託麻)、山頭(宇土)2
-1寺本(水前寺)、泉(託
麻)3-0石井(熊本武道館)
▽準々決勝 白(熊本武道
館)3-0河野、久松3-0
中山翔、中山龍3-0西本
山頭3-0泉
▽準決勝 白3-0久松、
山頭2-1中山龍
▽3位決定戦 中山龍2-
1久松
▽決勝 白3-0山頭

◇同7級以下▽1回戦 眞
弓(西合志)2-1上田(託
麻)、田尻(西合志)・不戦
勝・江藤(御船)、芋生陵(西
合志)3-0前田(合志)、合
志(託麻)3-0下園(合
志)、河野(合志)3-0本
田歩(西合志)、寺本(水前
寺)3-0緒方(西合志)、
本田尊(西合志)2-1前田
理(合志)、濱邊(西合志)
・不戦勝・塚本(水前寺)、
脇山(西合志)3-0三小田
(玉名)、芋生陵(西合志)
3-0園田(合志)、西本(合
志)3-0上妻(託麻)
▽2回戦 カリファ(熊本
武道館)3-0眞弓、芋生陵
3-0田尻、吉本(熊本武道
館)3-0本多、寺本2-1
河野、西浦(託麻)3-0本
田尊、脇山3-0濱邊、芋生
陵2-1山崎(宇土)、西本
2-1高本(西合志)
▽準々決勝 カリファ3-
0芋生陵、吉本2-1寺本、
西浦3-0脇山、芋生陵3-
0西本

スポーツ速報

モバイル版 くまにちコム(有料)

アクセスはこちらへ
<http://kumanichi.com/qr/>

男子300メートルで 江藤(九)が初優勝

全国高校陸上選抜

第3回全国高校陸上選
抜大会は29、30日、大阪
市のヤンマーフィールド
長居で男女計15種目を行
い、男子300メートルで江
藤拓都(九州学院)が、大
会タイ記録となる33秒25
をマークして優勝した。
2位は33秒53で中村拓都
(同)が入った。
東海大九州など
決勝リーグ進出
県総合バスケ

バスケットボールの全
九州総合選手権予選を兼
ねた古川杯県総合選手権
は29、30日、大津町総合
体育館で、男女1回戦か
ら決勝リーグの一部まで
を行った。男子は東海大
九州とエネステーザ熊本
が4チームによる決勝リ
ークに進出。女子は東海
大九州と慶誠高が決勝リ
ークに進んだ。

【男子】▽1回戦 KIN
GS88-55玉名工高、SCR
AMBLE94-48人吉高、国
府高76-58J.FOX、FR
ESH78-39大津高、熊本レ
ッドベアーズ80-63GEA
R、熊本工高93-61玉名
▽2回戦 KINGS80-
60TAPPERS、東海大九
州115-71国府高、エネ
ステーザ熊本89-62FRES
H、東海大星翔高93-72熊本
大
▽準々決勝 エネステー
ザ熊本80-74東海大星翔高、東
海大九州101-54KING

強豪撃破「勢いに乗れた」

○…団体キョルギは宇土が初優勝。先鋒の山頭愛斗は「優勝して新聞に載ることが目標だった。達成できてうれしい」と笑顔をほじけさせた。

初戦の準々決勝は、個人戦の疲れが残り「うまく動けなかった」と中堅の横田駿。しかし、準決勝で強豪の託麻を撃破したことで「勢いに乗れた」と横田。決勝では不知火に2-1で競り勝ち、大将を務めた角谷尚紘は「声援に後押しされた」と感謝を口にした。



団体キョルギで優勝した宇土

団体ブンセで優勝した熊本武道館A



男子個人キョルギの優勝者。前列左から1・2年軽量級優勝の芋生陵(西合志)、3・4年同の高橋瑠稀(熊本武道館)、5・6年同の中山龍(託麻)。後列左から1・2年重量級のカリファ(熊本武道館)、3・4年同の河野瑛翔(合志)、5・6年同の山崎爽(熊本武道館)



個人ブンセの優勝者。左から7級以下のカリファ(熊本武道館)、4～6級の白傲希(同)、3級以上の野田駿音(川尻)



女子個人キョルギの優勝者。左が2・3年の白傲希(熊本武道館)。右が4・5・6年の竹馬汐莉(不知火)

ツチングスコア方式による

ゴルフ

◇月例杯(中九州、18S)

①田内一ネット68②甲斐厚

72③猿渡研一73④角町三生73

⑤清田龍也76⑥3、4位はマ

勝1敗③熊本工2敗

工①熊本北2勝②熊本西1

北24①熊本西、熊本北22①

北24①熊本西、熊本北22①

北24①熊本西、熊本北22①

北24①熊本西、熊本北22①

北24①熊本西、熊本北22①

北24①熊本西、熊本北22①

北24①熊本西、熊本北22①

北24①熊本西、熊本北22①

北24①熊本西、熊本北22①

北24①熊本西、熊本北22①

青北町

球磨川に男性遺体

台風15号 行方不明者か

車で通り掛かった男性で成人男性の遺体を引
が110番通報した。
署によると、遺体は

8月30日に開かれた熊日学童五輪
テコンドー。競技の合間にあった幼
児ら13人によるアトラクションの試
合もなかなかの迫力で、「ヤア」と
かわいい掛け声とともに上段横蹴り
が飛び出した。その姿が偶然、会場
内に設置された競技マスコットと、

マスコットと“瓜二つ”

“瓜二つ”に重なった。

県テコンドー協会によると、マス
コットは5年前に韓国から取り寄せ
た。愛称はないが、高さ2m超もあ
り、「一緒に記念写真を撮るなど子
どもたちに大人気」と樋口悦夫会長。

(横井誠)

活写道
かっしや
みち

随時掲載

2015.9.3



LT 1871-1958 from the Collection of Panasonic Shiodome Museum

テコンドー普及で 国技院と協定締結

全日本連盟

全日本テコンドー連盟は19日、熊本市で会見を開き、流派の総本山である国技院（韓国）と競技普及に向けた連携強化などを果たった基本協定を結んだことを発表した。

全日本連盟は日本オリンピック委員会（JOC）に加盟する全日本協会と分裂状態にある。

基本協定は指導者育成や昇段などに関する協力を確認しており、5月19日に締結。樋口悦夫常務理事は「指導者のレベルアップを図り、テコンドーを取り巻く環境を改善



協定書を手にする国技院のオ・ヒョンドク副院長（左）と全日本連盟の武田正博理事長＝熊本市

したい」と述べた。

武道としての普及に力を入れる国技院は現在、各国の競技団体などと協定締結を進めている。同院のオ・ヒョンドク副院長は「連盟の主旨に賛同し、テコンドーの発展のために最適と判断した」と説明した。

流派の異なる全日本連

盟と日本国際連盟との基本交流協定の締結も行われ、柳逸男・日本国際連盟会長は「垣根を越えて交流を深め、共に競技普及と発展を目指したい」と抱負を語った。熊本県協会の創立30周年記念祝賀会もあり、才副院長ら約200人が出席した。

（坂本尚志）